

【第7回 佐賀県災害警戒本部会議】 7月13日

危機管理防災課長／午前7時から、浜玉町平原地区の土砂災害の搜索を開始。警察、消防、自衛隊、消防団など約260名体制。防災ヘリ「かちどき」、県警ヘリ「かささぎ」は空から、海上保安庁や糸島市消防本部が海からも搜索中。現在、新たな発見等の情報は無い。

- ・被害情報、人的被害、物的被害に変更はない。
- ・停電は、全て復旧した。
- ・唐津市は、対策本部を立て、避難指示も継続中。避難所には6世帯10名が避難。
- ・県から現地本部に3名、市役所の対策本部に3名、計6名の支援者を派遣。

警察本部／本日は、河川と海を搜索。午前9時からと午後3時前からの2回、ヘリで上空から海と河川を中心に搜索した。警備艇は、9時から終日搜索。陸から玉島川の河口、沿岸線を東へと進み、福岡県にも入って搜索している。

自衛隊／消防、警察、陸上自衛隊、空自の救助犬と協力して活動中。指揮・通信・衛生要員も含め、47名体制で搜索、救助活動にあっている。

佐賀広域消防局／活動人員は、唐津市消防本部4隊14名、県内応援隊、佐賀広域消防局4隊17名、伊万里・有田消防本部1隊5名、杵藤地区消防本部1隊5名、鳥栖・三養基地区消防本部1隊5名。

県内応援隊は、浜玉町平原地区の埋没家屋周辺の土砂を重機で除去作業中。唐津市消防本部は、ドローンで福吉漁港から唐津方面への検索を実施。

危機管理防災課長／12日午前7時から日没まで、唐津海上保安部の巡視艇1隻が搜索。本日も8時35分から日没まで、巡視艇1隻による搜索の予定。

また、唐津海上保安部からの協力要請を受け、10時から12時まで、糸島市の消防本部の潜水隊が搜索に協力いただいた。

消防保安室／県の防災ヘリ「かちどき」は、行方不明者の搜索活動を3日間で、延べ6回実施。ヘリに搭載しているカメラと隊員が目視で搜索。

11日、1回目の搜索で行方不明者1人を発見。現地から今坂川、玉島川を経て5km以上離れた玉島川河口で隊員が目視で見つけた。それ以降、行方不明者の発見地点を起点として、風向きや潮目を計算しながら搜索エリアを計画的に拡大。県警ヘリ「かささぎ」と連携して搜索継続中。

県土整備部／NEXCO の情報によると、高速道路の東脊振－鳥栖間の通行止めは、今朝 5 時に全面開放された。

防災監／交通関係は、おおむね開通したのか。

県土整備部／山間部で路肩の損傷がある。県管理道路で 7 か所の通行止めが発生。少しずつ、開放に向かっている。

防災監／現場では懸命に捜索活動が行われている。改めて現場の皆さんにお礼を申し上げる。

昨日に比べると天気がよくなり、捜査は順調に進んでいるが、新たな発見はなかった。捜索範囲をかなり広げて活動している。天気が変わりやすいため、くれぐれも二次災害に注意して、活動してほしい。